3　普及啓発・情報発信事業報告

1．文化財防災ネットワーク推進事業ウェブサイト「文化財防災ネットワーク」による情報公開

○ウェブサイトの改修

ウェブサイト開設から事業終了月までに、合計２回のウェブサイト改修をおこなった。改修・更新を加えるごとにウェブサイト訪問者数が劇的に増えた。また、災害後数日間は訪問者数が増加する傾向がみられた。

○これまでのアクセス解析データの数値

アクセス解析　一覧										
月	日平均訪問者数（Visits数）					月合計訪問者数（Visits数）				
	2015	2016	2017	2018	2019	2015	2016	2017	2018	2019
4月	68	197	99	146	525	68	6,118	2,940	4,385	15,759
5月	80	152	197	235	367	2,499	4,563	6,118	7,293	11,395
6月	1,383	151	152	240	378	41,509	4,684	4,563	7,212	11,364
7月	109	143	151	261	161	3,383	4,437	4,884	8,119	4,680
8月	112	149	143	291	568	3,492	4,474	4,437	9,036	17,629
9月	134	161	149	286	579	4,028	4,995	4,474	8,588	17,396
10月	1,065	191	161	261	642	33,029	5,735	4,995	8,092	19,919
11月	162	171	191	232	623	4,874	5,310	5,735	6,981	18,716
12月	115	203	171	218	570	3,571	6,296	5,310	6,558	17,670
1月	91	190	203	262	509	2,845	5,344	6,296	8,131	15,801
2月	83	228	190	283	553	2,431	7,078	25,657	7,932	16,054
3月	89	221	228	370	519	1,163	2,880	38,479	11,490	16,102
総合計						102,892	61,914	113,888	93,817	182,485

初期のウェブサイトトップページ
（平成 27 年 3 月時点）

第 1 回ウェブサイト改修後のトップページ
（平成 28 年 3 月時点）

第 2 回ウェブサイト改修後のトップページ
（令和元年 12 月時点）

２．被災資料の応急処置等に関わる動画の作成と公開（文化財防災マニュアル）

平成 29 年度から令和元年度にかけて、「文化財防災マニュアル」シリーズの制作をおこなった。

○文化財防災マニュアル Vol.1「水損紙資料のクリーニング処置例」

DVD、ハンドブック

YotuTube での動画公開

○文化財防災マニュアル Vol.2「民俗資料のクリーニング処置例」

DVD、ハンドブック

YotuTube での動画公開

○文化財防災マニュアル Vol.3「被災自然史標本の処置例と減災対策」

DVD、ハンドブック

YotuTube での動画公開

３．文化財防災に関するシンポジウム・講演会等

⑴　推進事業シンポジウム（推進室）

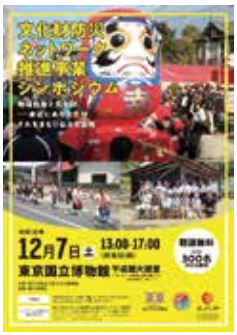
推進事業の５年間の取り組みを紹介し、今後の活動の方向性に関して広く一般に理解していただくためのシンポジウムを開催した。これまでに開催したシンポジウムの概要は下記の通り。詳細はウェブサイトにて公開している。

○平成 30 年度「地域防災と文化財―自然災害を知り、地域の貴重な文化的資源を守り、伝える―」

開催案内のチラシ

日時：2019 年 2 月 10 日（日）13：00-16：30
会場：京都国立博物館　平成知新館
プログラム：
主催者挨拶：松村恵司（国立文化財機構理事長・奈良文化財研究所長）
開催館挨拶：佐々木丞平（京都国立博物館長）
趣旨説明：岡田健（国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長）
基調講演：自然災害発生のメカニズムと地域防災の考え方／三村衛（京都大学教授）
講演 1：京都市の取り組み
　⑴「平成 30 年夏の自然災害による文化財被害とその対応」中川慶太（京都市文化財保護課）
　⑵「京都市における文化財防火について～みんなで文化財を火災からまもろう～」目片貴美子（京都市消防局）
講演 2「地域文化の保全と文化財防災―民俗学が果たす役割」大石泰夫（盛岡大学教授）
講演 3「地方創生と文化財―自然災害から文化財を守る強じんな体制とは」豊城浩行（文化庁文化財鑑査官）
閉会挨拶：朝賀浩（京都国立博物館学芸部長）

○令和元年度「地域社会と文化財―身近にある文化財、それをまもり伝える意味―」



開催案内のチラシ

日時：平成元年 12 月 7 日（土）
場所：東京国立博物館　平成館大講堂
プログラム：
開会挨拶：松村恵司（国立文化財機構理事長）
開催館挨拶：井上洋一（東京国立博物館副館長）
趣旨説明：岡田健（文化財防災ネットワーク推進室長）
基調講演「人口減少社会における文化財保護の可能性」宗田好史（京都府立大学副学長・教授）
講演 1「みんなでまもる地域の文化財―和歌山県の取り組みから」大河内智之（和歌山県立博物館主任学芸員）
講演 2「地域の復興に文化財が果たす役割―福島県双葉町の文化財」吉野高光（福島県双葉町教育委員会総括主任主査）
パネルディスカッション：宗田好史、大河内智之、吉野高光、岡田健
閉会挨拶：田沢裕賀（東京国立博物館学芸研究部長）

⑵　KICK シンポジウム（京博）

京都国立博物館では「文化財防災ネットワーク推進事業」の一つとして、文化財が集中する関西地域における文化財防災体制の確立を目指し、けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）の活用事業に取り組んだ。これまでに開催したシンポジウムの概要は下記の通り。詳細はウェブサイトにて公開している。

○平成 27 年度「文化財を災害から守る―文化財防災の過去・現在・未来―」

開催案内のチラシ

日時：平成 27 年 12 月 6 日（日）　13：00 ～ 16：00
会場：けいはんなオープンイノベーションセンター２階ミュージアムホール
プログラム：
総合司会：宮川禎一（京都国立博物館）
開会挨拶：佐々木丞平（京都国立博物館長）
<u>第１部　文化財と災害</u>
講演 1「阪神・淡路大震災と文化財」内田俊秀（京都造形芸術大学名誉教授）
講演 2「地域の連携と文化財防災―被災文化財等救援委員会の経験から―」岡田健（東京文化財研究所保存修復科学センター長）
<u>第２部　文化財を守るために</u>
講演 3「文化財から読み解く災害の歴史」村田泰輔（奈良文化財研究所）
座談会「文化財を災害から守る―文化財防災の過去・現在・未来―」内田俊秀、岡田健、村田泰輔、宮川禎一
閉会挨拶：伊藤嘉章（京都国立博物館副館長）

○平成 28 年度「文化財を災害から守る２　今、そこにある危機　関西地域の災害と文化財」

開催案内のチラシ

日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）　13：00 ～ 16：30
会場：けいはんなオープンイノベーションセンター２階ミュージアムホール
プログラム：
第１部　身近な災害　関西地域にける災害の危険性
講演 1「身近な災害：関西で起こりうる災害と文化財の被害―直下型地震とこれに伴う都市火災の危険性とその対策事例―」大窪健之（立命館大学理工学部教授・立命館大学歴史都市防災研究所長）
講演 2「木津川流域の災害―水と土砂の闘い―」芝野康之（木津川市教育委員会文化財保護課）
第２部　災害と文化財　過去の経験から
講演 3「局所型地震と博物館―新潟県中越大震災の事例から―」田邊幹（新潟県立歴史博物館）
講演 4「水害から文化財を守る―和歌山県の取り組み―」藤隆宏（和歌山県立文書館）
第３部　来るべき災害への備え
座談会「文化財を災害から守る―来るべき災害への備え―」大窪健之、芝野康之、田邊幹、藤隆宏、宮川禎一（京都国立博物館）

○平成 29 年度「文化財を災害から守る３　文化財の記録と継承～文化財を守り、伝えるために～」

開催案内のチラシ

日時：平成 29 年 10 月 28 日　13：00 ～ 16：30
会場：けいはんなオープンイノベーションセンター２階ミュージアムホール
プログラム：
第１部　文化財を後世に伝える取り組み
基調講演「文化財情報データベース化と防災、減災への活用」二神葉子（東京文化財研究所）
報告「京都国立博物館における文化財保護の取り組み―文化財修理と科学機器―」淺湫毅（京都国立博物館）
第２部　文化財がものがたる震災と復興の記憶―熊本地震に寄せて―
特別報告「震災への対応と震災史展の企画―熊本県立美術館の取り組み―」山田貴司・宮川聖子（熊本県立美術館）
第３部　文化財の記録と警鐘―文化財を守り、伝えるために―
座談会（二神葉子、淺湫毅、山田貴司、宮川聖子、宮川禎一）

○平成 30 年度「文化財を守り伝える１　文化財の保存と修理」

開催案内のチラシ

日時：平成 30 年 10 月 27 日（土）　13：30 ～ 17：00
会場：けいはんなオープンイノベーションセンター２階ミュージアムホール
プログラム：
第１部　保存と修理の現場から
「文化財修理の必要性―研究者から見える諸課題」大原嘉豊（京都国立博物館）
「文化財を受け継ぎ未来へ繋ぐ―絵と書の修理」山本記子（国宝修理装潢師連盟）
「特別史跡名古屋城―新資料から探る修理の歴史」朝日美砂子（名古屋市秀吉清正記念館）
第２部　文化財の保存と修理
座談会

○令和元年度「文化財を守り伝える２　東日本大震災から８年の今、これから」

開催案内のチラシ

日時：令和元 10 月 26 日（土）13：30-17：00
会場：けいはんなオープンイノベーションセンター２階ミュージアムホール
プログラム：
第１部　東日本大震災における文化財レスキュー
「現地における文化財レスキュー」
「被災文化財の修理について」
第２部　被災地の現状とこれから
「宮城県からの報告」
第３部　東日本大震災から８年の今、これから
座談会

⑶　特別講演会・公開シンポジウム

九州国立博物館にて「文化財防災ネットワーク推進事業」の取り組みの一つとしてシンポジウムおよび特別講演会を開催した。これまでに開催したシンポジウム等の概要は下記の通り。詳細はウェブサイトにて公開している。

○平成 27 年度公開シンポジウム「地域と共に考える文化財の防災減災Ⅰ」

開催案内のチラシ

日時：平成 27 年 6 月 14 日（日）　10：00 ～ 17：00
場所：九州国立博物館ミュージアムホール
プログラム：
総合司会：井上洋一（九州国立博物館）
開会挨拶：栗原祐司（国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長）
第 1 部　基調講演
「災害の歴史から学び、防災・減災の社会へ―東日本大震災の地で考える―」平川新（宮城学院女子大学学長・東北大学名誉教授）
第 2 部　事例報告
「東日本大震災後の民俗芸能の再開」小谷竜介・大久保春野（東北歴史博物館）
「阪神淡路大震災から始まった歴史資料ネットと地域への展開 関西地域における震災・水害と文化財防災」松下正和（近大姫路大学）
「市民とともに歩む文書館―尼崎市立地域研究史料館の取組―」河野美央（尼崎市立地域研究史料館）
「和歌山における地域歴史保全活動について」前田正明（和歌山県立博物館）、三本周作（和歌山県教育委員会）
「学生ボランティアの歴史遺産保存―茨城史料ネットの活動から―」添田仁（茨城大学）、安田千明（茨城大学大学院）
第 3 部　パネルディスカッション
「地域と共に考える文化財の防災減災―地域歴史遺産、市民参加、大学・ミュージアム、悉皆調査、過疎化・高齢化・危機管理―」司会：本田光子（九州国立博物館）、パネリスト：天野真志（東北大学災害科学国際研究所）、内田俊秀（京都造形芸術大学）、奥村弘（神戸大学大学院）、田中淳也（対馬市教育委員会）、日髙真吾（国立民族学博物館）、三輪嘉六（NPO 文化財保存支援機構）、村田眞宏（豊田市美術館）、山内利秋（宮崎歴史資料ネットワーク）
閉会挨拶：大西浩二（九州国立博物館副館長）

○平成 28 年度公開シンポジウム「地域と共に考える文化財の防災減災Ⅱ」

開催案内のチラシ

日時：平成 28 年 1 月 24 日（日）　13：00 ～ 17：00
場所：九州国立博物館ミュージアムホール
プログラム：
総合司会：小泉惠英（九州国立博物館）
開会挨拶：島谷弘幸（九州国立博物館長）
第 1 部　基調講演
「あらためて考える　文化財の悉皆調査と市民―阪神・淡路大震災とボランティア元年―」三輪嘉六（NPO 法人文化財保存支援機構・前九州国立博物館長）
第 2 部　事例報告
①地域と共に
「防災的観点から見た「大分県記録史料調査事業」」村上博秋（大分県立歴史博物館）
「「島原大変肥後迷惑」―熊本県内に残る津波碑の悉皆調査からみえてきたこと―」坂口圭太郎（熊本県立装飾古墳館）、美濃口雅朗（熊本城調査研究センター）、松本博幸（天草市文化課）
②市民と共に
「阪神・淡路大震災以降の文化財保全活動―人、まち、時代をつなぐ旧玉置家住宅―」辻田政顕（三木市豊かなくらし部商工観光課）
「新潟県中越大地震と市民参加による資料整理―十日町市古文書整理ボランティア 10 年のあゆみ―」高橋由美子（十日町市教育委員会）、村山歩（十日町市博物館・十日市教育委員会）、山内景行（十日町市古文書整理ボランティア写真整理チーム）
「「ボランティア」から学ぶ歴史資料保全―東日本大震災の取り組みから―」天野真志（東北大学災害科学国際研究所・NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク）、柴田かよ子（NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワークボランティア）、鳥山美智子（NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワークボランティア）
第 3 部　パネルディスカッション
「地域と共に、市民と共に考える　文化財の防災減災」司会：本田光子（九州国立博物館）、パネリスト：川内淳史（神戸大学大学院）、伊達仁美（京都造形芸術大学）、村田眞宏（豊田市美術館）、山口俊浩（文化庁）
閉会挨拶：栗原祐司（国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長）

○平成 28 年度特別講演会「歴史と共に考える文化財の防災・減災」

開催案内のチラシ

日時：平成 28 年 7 月 18 日（月・祝）　13：00 ～ 16：30
場所：九州国立博物館ミュージアムホール
プログラム：
開会挨拶：島谷弘幸（九州国立博物館長）
基調講演
「正倉院の管理について―同じ場所で、これまでずっと―」杉本一樹（宮内庁正倉院事務所長）
講演
「正倉院と自然災害―宝庫修理の歴史から―」飯田剛彦（宮内庁正倉院事務所）
「近衛家の歴史と文化財」羽田聡（京都国立博物館）
「東山御文庫と図書寮文庫―バックアップと疎開で守った資料―」田代圭一（宮内庁書陵部図書課図書寮文庫）
「明治維新と廃仏毀釈」野尻忠（奈良国立博物館）
「関東大震災、第二次世界大戦時の文化財―東京国立博物館の歴史における災害―」恵美千鶴子（東京国立博物館）
「歴史資料を未来につなぐということ―大名家文書と在地文書、熊本震災の経験から―」稲葉継陽（熊本大学・熊本大学付属永青文庫研究センター）
閉会挨拶：岡田健（国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長）

○平成 28 年度公開シンポジウム「地域と共に考える文化財の防災減災Ⅲ　熊本地震と文化財レスキュー」

開催案内のチラシ

日時：平成 28 年 12 月 4 日（日）　11：00 ～ 16：50
場所：九州国立博物館ミュージアムホール
プログラム：
総合司会：本田光子（九州国立博物館）
開会挨拶：島谷弘幸（九州国立博物館長）
第 1 部　対談「熊本地震を考える」司会：本田光子
平川新（NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク理事長・宮城学院女子大学学長）、三輪嘉六（NPO 法人文化財保存支援機構理事長・前九州国立博物館長）
第 2 部　報告「熊本地震による文化財の被災とレスキュー中間報告」
「レスキュー事業の概要」
・文化財レスキュー事業の立ち上げについて：朝賀浩（文化庁）
・文化財の大規模被災―初動からレスキュー、復旧スキームへ―：平井貴（熊本県教育庁）
・九州救援対策本部の活動：小泉惠英（九州国立博物館）
「レスキューの事例報告」
・熊本被災史料レスキューネットワークの取り組み：稲葉継陽（熊本大学・熊本被災史料レスキューネットワーク）
・熊本県立美術館の取り組み：有木芳隆・山田貴司（熊本県立美術館）
・熊本県博物館ネットワークセンターの取り組み：國本信夫（熊本県博物館ネットワークセンター）
・熊本市立熊本博物館の取り組み：竹原明理・甲斐由香里・木山貴満
・レスキューの実施と救出資料への対応について：三角菜緒（九州国立博物館）
第 3 部　パネルディスカッション「熊本文化財レスキューから学ぶ」司会：小泉惠英（九州国立博物館）
朝賀 浩（文化庁）、稲葉継陽（熊本大学･熊本被災史料レスキューネットワーク）、平井貴（熊本県教育庁）、和田仁（熊本市立熊本博物館）
閉会挨拶：伊藤嘉章（九州国立博物館副館長）